

30th  
Anniversary



2017  
No.310

1  
月号

# News

全面リニューアル第3号!

全国整備工場の皆様へ  
NGP組合員200拠点がお届けする  
お役立ち情報

2017年1月19日発行  
■発行責任者/佐藤幸雄 ■編集・制作/(株)プロトリオス  
■発行/(株)NGP 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL03(5475)1200

定価/1部30円

## 平成29年 理事長年頭のご挨拶

# 自動車リサイクル部品業界のリーダーとして 業界活性化を図り、厳しい時代を乗り越え 新しい時代を切り拓きます!

明けましておめでとうございます。年頭に当たり新年のお慶びを申し上げます。また旧年中は、弊組合に多大なるご支援を賜り、改めて感謝申し上げます。

近年連続して起こる自然災害の猛威は昨年も数多く、人的・物的被害を問わず肥大化しています。昨年4月熊本を中心に九州を襲った大地震、台風10号の記録的な大雨で大きな被害を受けた岩手県、北海道においては前例のない3連続での台風上陸による洪水被害など、全国様々な場所で発生しています。被災された全ての方々に、謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、自動車業界では、ASV(先進安全自動車)技術の普及拡大により、交通事故の発生件数がますます減少しています。さらに、自動車保険等級制度の改定に伴い、小破の事故については修理を見送るエンドユーザーが増加しており、今後も事故修理が確実に減少することが予測されます。国内の自動車販売市場が飛躍的に好転する可能性は乏しく、車体修理業界を取り巻く環境はより厳しくなるものと思われま。

また、私たち自動車リサイクル業についても、使用済み自動車の発生台数は過去最低水準、引き続き海外への車両流出による仕入れ価格の高止まり、平均使用年数の長期化による部品取り車両の質の低下など、リサイクル部品を生産するうえでは非常に厳しい状況が続いております。さらに鉄ス

クラップの低迷が追い打ちとなっておりますが、直近では鉄スクラップ相場が上昇傾向にあるものの一過性のもので、引き続き厳しい環境が続くと想定しております。

私たちNGPは、お客様満足度のさらなる向上には、NGPブランドとしてトータルでの品質向上が重要と考えています。従来より取り組んでまいりましたISO14001(環境マネジメント)だけではなく、NGP商品の品質管理を目的としたISO9001をNGP本部のみならず組合員各社で取得し、さらに昨今のコンプライアンス遵守を目的とするISO27001(情報セキュリティ)を取得するなど、2016年12月時点で101社が一斉取得しており、引き続き全組合員取得に向けて活動してまいります。

また、お客様への対応品質向上に向けたロープレ訓練「フロントマンステップアップ研修」、電子制御部品の搭載が増えた次世代自動車のリサイクル部品生産・品質チェックに欠かせないスキャンツールを全組合員に導入したうえで受講を義務化した「スキャンツールセミナー」、高額ヘッドランプの付加価値を高める「ヘッドランプ補修技術研修」などの研修を、高品質リサイクル部品を提供するため、今後も継続的に実施してまいります。

おかげ様で、NGPグループは創立30周年を迎えることができました。これも、ひとえに自動車整備・修理事業者様、損害保険会社様、リース会社様など、全てのお客



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合  
理事長  
佐藤幸雄

様のご支援の賜物と、改めて心より感謝を申し上げます。

先に述べました通り、自動車業界は変革の時代を迎えています。この時代を皆さまとともに勝ち抜くためには、新しい発想のもと、新しいものを生み出すことに挑戦してかなければなりません。そこで今年のNGP事業テーマを『「創」～挑戦と継承で新たな時代を～』といたしました。私たちは、「お客様第一」の理念の原点に返り、お客様との絆をさらに強くし、お客様に信頼され、期待される組織となるよう努力してまいります。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 「エコプロ2016」に11年連続で単独出展

### 廃車王、エコひろば、パーツ王とともに NGPリサイクル部品を実車と実物でPR

NGP協同組合及び(株)NGPは2016年12月8～10日の3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された“環境”をテーマにする日本最大級の展示会「エコプロ2016」に出展しました。同展示会への出展は、初出展の第8回より数えて11年連続になります。今回のNGPブースは東6ホール入口のすぐ近くに設置され、「廃車王」ロゴ入りジャンパーを着たスタッフがオレンジ色のエコバッグを配りながら、多くの来場者を出迎えました。

メインステージには大型モニターを設置して、プロのナレーターによる「環境に優しい自動車リサイクル部品」の紙芝居を随時上演しながら、NGPの紹介動画「もうひとつのエコカー」と廃車王のTVCMを放映しました。

また、その壁面には「NGPエコプロジェクト」の研究成果である、自動車リサイクル部品の使用によるCO<sub>2</sub>削減効果の数値や計算方法などを、廃車買い取りサイト「廃車王」のキャラクターとともに大きく描いたことで、地球環境問題への関心が高い来場者から多くの質問が寄せられました。

メインステージ裏側の壁面には、中央に①廃車の買い取り→②分解してリサイクル部品を取り外す→③リサイクル部品を使用してエコ修理→④エコカー誕生の流れを、右側には廃車王、左側にはNGPエコひろばのキャラクターと「NGPパーツ王」のロゴとともに描きました。

総合ショッピングサイト・Amazon.co.jp内に出店する「NGPパーツ王」を通じ、NGPリサイクル部品を一般カーオーナーが直接購入できることを同展示会でアピールするのは今回が初の試みで、リサイクル部品を活用した整備・修理を検討する多くのカーオーナーに対し、NGPリサイクル部品の存在を知っていただくきっかけ作りになっています。

通路側には前回に続き、エアバッグを展開し部品を取り外した車両と、その車両から実際に生産したリサイクル部品を展示しましたが、今回は大人だけではなく小学生

からも非常に大きな注目を集め、各部品の新品とリサイクル部品との価格差を熱心にメモする姿が頻繁に見られました。

恒例の、被災地支援募金にご協力いただいた方へエンブレムをプレゼントするコーナーは、来場者の目に留まりやすいようブース四隅のうち3カ所に設置したこともあり今回も大盛況で、これまで以上に数多く用意したエンブレムがほぼ全て来場者の手に渡りました。

NGP協同組合・環境委員会の胡定晃委員長は、「今回からNGPパーツ王のPRも

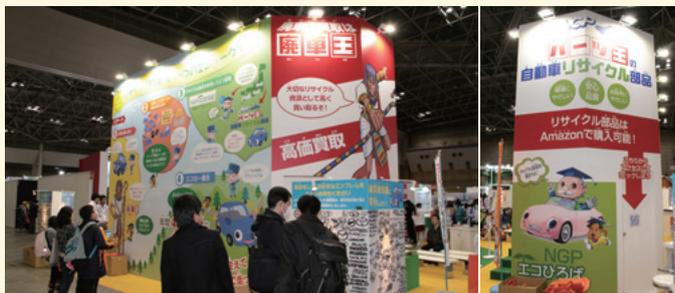
始めたことで、カーオーナーは使用済み車両を廃車王で売れ、NGPリサイクル部品をAmazon.co.jp内のNGPパーツ王で購入でき、その部品はNGPエコひろば会員工場で取り付けられるという一連の流れで、各サービスのご利用を提案できるようになりました。今後はNGPリサイクル部品の活用をさらに促すべく、NGPパーツ王をより強く訴求したいと思います」と、3日間の手応えと次回の構想について話しています。



紙芝居を上演するメインステージをオープンにし、NGPエコプロジェクトと廃車王、使用済み車両とともに、スタッフがエコバッグを配布しながら大勢の来場者をお出迎え



NGP協同組合・環境委員会の胡定晃委員長



ステージ裏側には自動車リサイクルの流れと廃車王、エコひろばに加え、新たにNGPパーツ王の紹介を入れ、NGPリサイクル部品活用の流れも訴求



新品部品との価格比較表とともに展示された使用済み車両及びNGPリサイクル部品。大人のみならず小学生もその経済的メリットに大注目



募金いただいた方にエンブレムをプレゼントする被災地支援コーナーは今回も大盛況。老若男女問わず多くの来場者から暖かい支援が寄せられた

ここから見える  
自動車アフター  
マーケットの未来

# 2GPa級超高張力鋼板が普及すれば 車体修理は溶接以外の 接合技術が主流に!?

「エコプロ2016」にはNGPグループのみならず、カーメーカーや鉄鋼、樹脂、紙などの素材メーカーが数多く出展し、燃費低減に貢献する軽量外板・骨格や、石油資源使用量及びCO<sub>2</sub>・VOC排出量の削減に寄与する植物由来の部品を紹介していました。第1回の今回は、これらエコプロ2016に出品されていた素材のうち、鉄鋼が今後どのように進化するのか、また普及が進んだ際に車体修理はどう変化するかを予測してみます。

まず、自動車用外板・骨格において最もメジャーな素材である鉄鋼は、すでにバンパービーム及びサイドインパクトビームで引っ張り強度1.8GPa級、キャビン周りの骨格で1.5GPa級の超高張力鋼板まで実用化されていますが、鉄鋼メーカー開発者によれば現時点で2GPa級のものまで開発が進められているようです。

鉄鋼は張力が高くなるほど加工しにくくなり、また組織が変化する温度以上に加熱すると強度低下を招きやすい傾向にあります。そのため、こうした鋼板が用いられている車両を修理する際の接合方法や各ツール・材料の使用条件などが、カーメーカーのボディ修理マニュアルにおいて厳格に指定されているケースが多く見られます。

2GPa級の超高張力鋼板が骨格に採用され普及すれば、修理時の溶接条件はますますシビアになります。また、鉄鋼以外の軽量素材を併用する車種が増えれば、異種間接合が必要となるケースが増加します。そうなれば、溶接ではなく接着剤、あるいはリベットやボルト・ナットを用いた機械接合を採用・指定する車種が拡大する可能性があります。

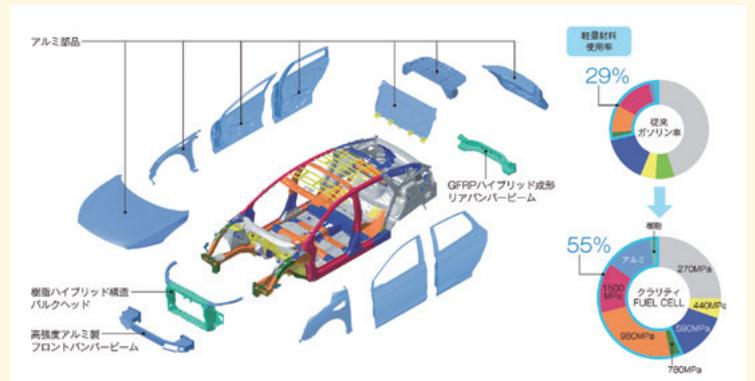
しかしながら、接着剤のみで接合した場合は経年劣化により接合強度が低下するリスクがあり、機械接合は重量増を招いて材料置換による軽量化効果を相殺してしまうため、鉄鋼メーカーとしてはさらなる超高張力鋼板に対応する溶接または重量を増加させない接合技術を開発して対応したい考えです。

従って、車体修理においても、従来にない接合方法と材料を用いた機器が開発され、車体修理工場は全く新しいタイプの接合ツールと、それを用いた修理技術の習得に迫られるようになるかもしれません。

(続く)



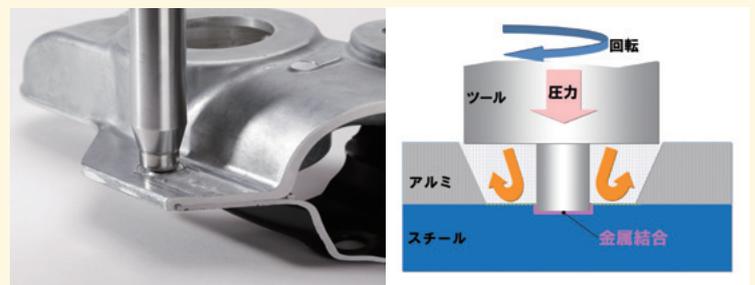
ホンダブースに展示されたクラリティフューエルセルのカットボディ(上)と同車のボディ構造。超高張力鋼板のみならずアルミや樹脂も多用されている



JFE スチールが示した1.5GPa級冷延鋼板の使用部位拡大イメージ。キャビンの変形による乗員へのダメージを最小限に防ぐため、前席周辺の骨格を中心に採用される見込み



北米仕様ホンダ・アコードのフロントサブフレームでアルミ同士またはアルミ&スチールの接合に採用されている、摩擦攪拌連続接合技術とその概念図。将来は車体修理にも同様の技術が用いられるかもしれない



## NGP 今月のCO<sub>2</sub>削減量



リユース部品利用に伴うCO<sub>2</sub>削減量

平成28年11月: **2,996t**

※1自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の50部品(左右ある部品を含むと64部品)を対象に算出した数値です。



リターナブル梱包材利用に伴うCO<sub>2</sub>削減量

平成28年11月: **10.4t**

※2リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

## NASVA、2016年度前期自動車アセスメントを発表

### 対歩行者被害軽減ブレーキの 予防安全性能評価結果を初公表

**国**土交通省と自動車事故対策機構(NASVA)は12月1日、2016年度前期自動車アセスメントを発表し、日本初となる「歩行者に対する被害軽減ブレーキ」の安全性能評価結果を公表しました。

近年、交通事故は減少傾向にあるものの、2015年には交通事故の死者が15年ぶりに増加に転じました。その内訳を見ると、事故死者の約37%を歩行者が占めているほか、2015年の死傷者数は66万6,023人と、2004年から減少傾向にはあ

るものの、依然高水準が続いており、歩行者事故防止対策は喫緊の課題です。

このため自動車アセスメントにおいて、今年度から予防安全性能の評価対象に対歩行者被害軽減ブレーキが追加されました。

今回評価対象となったのは、予防安全性能評価が11車種、衝突安全性能評価が4車種です。そのうち、予防安全性能評価対象となった全車種が総合評価でASV++(最高評価)を獲得し、衝突安全性能評価については、4車種中2車種が最高評価である



マツダ・アクセラによる対歩行者被害軽減ブレーキのデモンストレーション

ファイブスター賞を受賞しました。

同日、日本自動車研究所(茨城県つくば市)で、対歩行者被害軽減ブレーキにおいて最高点となる25点満点中24.5点を獲得したマツダ・アクセラによる、被害軽減ブレーキの実演が行われました。20km/hで走行中に、停車している車両の陰から歩行者が飛び出してくることを想定したデモ走行が2回実施されましたが、いずれも歩行者の手前でピタリと停止し、集まった報道陣を大いに湧かせていました。

## NGP組合員かわら版

### 辻商会、補修ヘッドランプの生産・販売を開始 技術研修会で学んだ技術を 売上・意欲・CS向上に活用

NGP組合員の(株)辻商会(北海道旭川市)はこのほど、補修ヘッドランプの生産・販売を開始しました。

これは、8月に開催された「高額ヘッドランプ補修技術研修会」(詳細は本紙2016年9月号4面)を同社生産課の吉田稔さんが受講し、その際に学んだハウジング補修技術及び、傷や黄ばみの除去方法などを活用したことによるものです。これまでに日産モコ、トヨタ・エスティマ、マツダ・デミオ、レクススSC、トヨタ・アルファードのヘッドランプを補

修し販売することができました。

同社の辻憲太社長は「高額ヘッドランプ補修技術研修会を受講したことで、本来ならば廃棄などにせざるをえなかったヘッドランプを復活させ、付加価値を与える技術を習得できました。また、その技術を活用して生産されたヘッドランプをお買い求めいただけるようになったことで、売上アップのみならず生産スタッフのモチベーション、そしてお客様の満足度向上にも結び付いています」と、その意義の大きさを話しています。



ヘッドランプのハウジングを補修する(株)辻商会生産課の吉田稔さんと辻憲太社長



黄変しハウジングが折れたヘッドランプ(左)も修理後(右)は新品同様に

#### NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F  
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209  
<http://www.ngp.gr.jp/>

#### 株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F  
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201  
<http://www.ngp.co.jp/>